

教科・「科目」	工業・「建築施工」	単位数	学習形態	学年	履修学科、必修・選択の別等
		2	座学	3	建築科選択科目

1. 目標と評価規準

目標	建築施工に関する基礎的な知識と技術を習得させ、実際に活用する能力と態度を育てる。	
評価の観点と比重	評価規準	評価の方法
関心・意欲・態度 (10%程度)	建築施工に関する諸課題について関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。	学習状況等
思考・判断・表現 (20%程度)	建築施工に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する能力を身に付けている。	提出物の内容 定期考査等
技能 (30%程度)	建築施工の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身に付け、環境に配慮し、ものづくりを合理的に計画し、その技術を適切に活用する能力を身に付けている。	提出物の内容 定期考査等
知識・理解 (40%程度)	建築施工の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身に付け、現代社会における工業の意義や役割を理解している。	提出物の内容 定期考査等
使用教材等	建築施工(実教出版)	

2. 年間指導計画

学期	月	単元・教材名	主な学習内容	ICT利活用
1 学期	4	外部仕上、内部仕上、建築の業務	外部仕上、内部仕上、建築の業務の概要について学習する。	学習用パソコンに資料を提示 電子黒板に現場映像の資料等を提示 学習用パソコンに問題を配信
	5	屋根・外壁工事	各種構造の屋根・外壁工事の概要について学習する。 1 木構造 2 鉄筋コンクリート構造 3 鋼構造	
	6	外部開口部・断熱工事	各種構造の外部開口部・断熱工事の概要について学習する。 1 木構造 2 鉄筋コンクリート構造 3 鋼構造	
	7	内部仕上 天井・壁・床工事	各種構造の天井・壁・床工事の概要について学習する。 1 木構造 2 鉄筋コンクリート構造 3 鋼構造	
2 学期	9	建築物の保全	保全の分類と考え方 1 保全の分類 2 保全の考え方 3 保全の方法	
	10	解体工事と環境保全	解体工事 1 解体工法の種類 2 解体工事の流れ 3 保全の方法	
	11 12	建築の業務	建築の各種業務について学習する。 1 工事契約について 工事の発注方式、契約方式、契約内容 2 現場組織の編成について 工事事務所組織の構成、施工体制 3 施工計画と施工管理について 工程計画と工程管理	
3 学期	1			
	2			

備考	
----	--